

平成 27 年度 第 2 回 静岡県作業療法士会 理事会議事録 (平成 27 年 6 月 13 日)

出席者：秋山、三井、梶原、稲葉、岩井、大石、大庭、勝又、小林、齊藤、建木、林、村岡(理事:13名)
小笠原(監事1名)、熊谷(顧問)[高岡、辻、杉山、武内(書記)]

場 所：静岡県作業療法士会事務局(静岡) 12:50~17:45

※【平成 27 年度 第 2 回理事会資料】<別紙資料>に順じて進行

【報告・審議事項】

1. 県士会役員の部局配置(担当)について

2. 第 28 回静岡県 OT 学会 報告(大石学会長)・総会(三井副会長)

- 参加者：①学会参加者数：571名(内訳 OT 会員 515名,OT 非会員 2名,他職種 4名,学生 50名)
②一般公開講座参加者数：298名[内訳 OT217名,一般(医療・福祉職・一般等)81名]
③レセプション参加者数：231名
④交流企画参加者数：当日参加者 6名 ファシリテーター5名 子供 1名
- 今 後：プロセスマニュアル作成中、29 回学会へ引き継ぎ(8月)、反省会議の開催、
詳細な収支報告(8月)
- 総会反省：準備や委員への伝達が上手く行かなかったため、次回は運営表修正し周知を促す
学会の配慮もあり出席者が確保できたが、委任状を増やすための案内方法も検討

3. 第 29 回静岡県 OT 学会 進捗(村岡理事)

- 演題募集：平成 27 年 7 月から開始。学会ホームページ開設
- 会場費支払い：6 月中に前払い(40 万)今後の運営費を考慮し 50 万円借りたい ⇒ 承認
- 公開講座：講師検討中
- その他：平成 28 年 5 月 28 日(土) OT 協会の社員総会に会長出席予定

4. 第 30 回静岡県 OT 学会 進捗(三井副会長)

- 開催日：平成 29 年 6 月 3 日(土) 4 日(日)
- 会 場：プラサ ヴェルデ(沼津市)
- 学会長：田尻寿子氏(静岡がんセンター)

5. OT 協会社員総会の報告(代議員)

- 開催日：5 月 30 日(土) 日本教育会館(東京)にて開催
- 役員選挙：23 名の定員に対して 28 名の立候補者(去年は 19 名)
- 内 容：
 - ・OT 協会 50 周年式典 平成 28 年 9 月 25 日開催予定
 - ・会費未納者を減らし脱退を阻止するよう検討が必要
 - ・公益法人化に向けての話も出ている
 - ・MTDLP の成果出ず PT・OT が同じ内容であれば同職種として扱うような話あり。
協会としては今後医療分野でも MTDLP の活用実績を作るよう検討(秋山、梶原)。
 - ・訪問リハステーションは淘汰されつつあり地域包括ステーション構築の流れがある。
 - ・同時改定前の 2 年間で勝負の年。行政への働きかけも今後ますます必要になる。

6. 47 都道府県委員会報告(秋山会長)

- ・新オレンジプランの概要(厚生労働省;真子美和氏)
- ・認知症の人の生活支援推進委員委員会からの報告：OT が入り込めていない。会員への周知や研修
会の開催、行政への働きかけが必要
- ・平成 26 年度老健保健健康増進等事業について
- ・グループワーク(軽度認知症高齢者・介護予防、初期認知症集中支援チーム、行政・地域包括)
- ・MTDLP 報告 ※「生活行為向上リハビリテーション実施加算」算定要件に係る今後の取り扱い
①平成 28 年 3 月 31 日まで(経過措置)：基礎研修修了証取得者は、平成 28 年 3 月 31 日までに
実践者研修を終了し、実践研修終了証を取得すること。
②平成 28 年 4 月 1 日より：実践者研修終了証を取得した者に一本化する。

7. 各種委員の推薦依頼の確認(事務局)：保留の懸案はなし。

8. その他：

- 1) 広域支援センターとリハ職能団体、市町との検討会
①日 時：6 月 11 日(木) 15:30~17:30
②場 所：静岡県庁
③出席者：県長寿政策課介護予防班、広域支援センター代表者、各士会代表者

- ④内 容 : ・広域支援センターの在り方、3士会の役割について提言、各市町の実態報告
- ・地域包括ケアシステムに関与できる人材を育成していくことが課題であり、人材を発掘し推薦者として県士会で把握できる体制が必要。そのために研修会（「地域包括ケアについて」と「地域ケア会議参加のための育成」）を開催し、地域格差がないよう県内の人材均一化を図れるようにしていきたい。
 - ⇒ 実態把握だけでなく、会員に県士会の動きの周知や窓口を啓発することも踏まえてアンケートの活用検討が必要。
 - ・実態把握としては、会議参加状況だけでなく、会議の内容や発言について把握し県士会で見える化できるようなシステム構築をしていきたい。

【各部報告】

1. 財務部（小林理事）

- ・昨年各部会計担当者とのメーリングを作成した。今後も帳簿の確認や意識統一を図っていく。
- ・6月27日の会計担当者部会で源泉徴収の取り扱いや講師料のばらつき整備等を行う。
- ・財務諸表の修正に関して、広報誌次号にお詫びの文書を入れた上で、HPでの公表としたい⇒承認

2. 学術部（三井副会長、清水部長）

1) MTDLPについて（詳細は資料参照）

- ・基礎研修終了要件：概論 90分＋演習 330分＝420分（積算可）
- ・協会宛報告件数：基礎研修修了者 63名 実践者研修修了者 11名（協会主催研修会は未把握）
- ・今年度も各地区研修会（算定要件に関わる）を開催
- ・研修会案内文書：目的が算定できる人材を増やすことであり、各施設の管理職への啓発も含めて「啓発」の文言を記載。会員を対象にした研修とする。
- ・教育部の事例報告との棲み分けを会員へ分かりやすいように案内する。

3. 教育部（村岡理事）

1) 検討事項

- ①来年度の新人オリエンテーション開催日について：平成28年4月24日（日）決定
- ②現職者共通研修については随時開催。
- ③現職者選択研修「老年期障害」
 - ・開催日：平成27年9月6日（日） 沼津市立図書館 視聴覚ホールにて開催予定
 - ・講師：村田雄二氏（ラポーレ駿河）、神藤理美子氏（介護老人保健施設あすなる）
尾崎勝彦氏（市立御前崎総合病院）岩井幸治氏（町なか作業療法室伊豆）
- ④平成27年度第1回生涯教育制度推進担当者会議への参加
 - ・開催日：平成27年6月20日（土）三宮コンベンションセンターにて開催予定
 - ※MTDLPと生涯教育制度の関連について何らかの指示があり、今後基礎研修に組み込まれる。

4. 広報部（大石理事）

- ・イメージキャラクターの名前：静作（しずさく）に決定
今後は、ホームページからぬり絵等をダウンロードできるように進める
- ・予算200万程度 費用対効果を吟味し経費削減を検討していく
- ・予算を掛けずにメディア等の広報戦略を検討

5. 渉外部（秋山会長）

1) 渉外関連の会議、式典の出席

- ・5月22日：3士会合同会議（広域支援センターとの検討会についての事前会議）
- ・5月30日：OT協会社員総会
- ・5月31日：47都道府県委員会（PM都道府県連絡協議会総会）
- ・5月31日：PT県士会学会来賓（三井副会長）
- ・6月11日：広域支援センターとリハ職能団体、市町との検討会
- ・6月7日：静岡県作業療法士会総会

2) 今後の予定

- ・7月26日～27日：47都道府県委員会（士会より、もう1名出席可：岩井理事出席）
- ・11月28日（11:40～12:10）第15回東海北陸作業療法学会開会式来賓（出席者検討）

6. 福利部（齊藤理事）

- 1) 東海北陸リーダー養成研修会 in 静岡 第4回静岡 OT リーダー育成研修会
 - ・平成27年11月7日8日 伊豆長岡おとり荘にて開催
 - ・東海北陸ブロック各県士会へ案内文を送付
 - ・中村協会会長に來賓及び講演依頼し了承を得る。

7. 事業部（建木理事）

- ・事業部会：平成27年6月17日開催予定
- ・高校生施設見学：8月予定
- ・市民公開講座：前回の谷川監事の講演が行政からも好評だった
- ・一般市民作業療法見学：御前崎市で1件あり
- ・ふれあい広場がなくなったため、発達系でイベントを探す

8. 調査部（大庭理事）

- 1) 実況調査：6月中に完成させ、ホームページに掲載予定（別紙資料参照）
- 2) 第28回学会アンケート：取りまとめて学会へ提出
- 3) 今年度事業：①育児世代 OT に対するアンケート
②介護報酬改定に関する実態調査（案）
- 4) 検討事項：現況調査は地域ケア会議等の各地区の担当者（代表者）選出に使えるそうだが、個人情報等の取り扱いについては如何か。
⇒目的がアンケートのためであり、派遣等の目的でないため選出のための使用は不可

9. 制度対策部（梶原副会長）

- ・介護保険改定後の情報発信
- ・地域包括ケアシステムに対する3士会の意見交換
- ・制度に関して戦略的に把握するために他の部局とも連携
- ・OT協会はMTDLPを通所リハだけでなくもっと広い領域で活用できるようにしたい意向がある（介護保険リハ移行支援料、退院時リハ指導料等にMTDLPを活用してはどうかという意見）

10. 地域活動推進部（岩井理事）

- 1) 圏域&市町代表者調整状況：西部地区未選出部分は稲葉理事より報告あり
- 2) 圏域・市町代表者研修会の調整
 - ・日時：未定
 - ・内容：協会や県士会の活動報告、MTDLPや初期認知症について
- 3) 静岡人材バンク（加納部長案）
 - ・目的：地域に密着したOTの活動不十分や地域ニーズに対応できない現状がある。地域行政とのパイプ作りと地域ニーズに対応できる人材の提供・育成を推進するために県内OTの人材バンクを発足させたい。
 - ・方法：依頼に対する流れを作る（委託事業⇒県士会⇒OT人材バンク⇒依頼事業）
マスターを育成し、マスターが研修生を指導・実践に付き添う等のサポート
 - ・今後：アンケート調査、勉強会の実施、行政への広報
⇒調査から実態把握し、上手く行っていない市町への参画に対してどう支援するか検討

●東部（岩井理事）10月18日（日）タウンミーティング

●中部（勝又理事）

- 1) 静岡市からの依頼について
 - ・静岡市認知症初期集中支援チーム委員会：片桐利康氏（山の上病院デイケアセンター）に依頼
 - ・静岡市高齢者福祉課 在宅医療出前講座：近藤大貴氏（ハートピアの森）に依頼
- 2) 中部地区新人歓迎会：6/13（土）17:30～ 27名（新人13名）「和民」にて開催

●西部（稲葉理事）

- 1) 西部地区新人歓迎会・西部地区 OT 交流会：平成27年5月29日「Merry YOU」にて開催
- 2) 西部地区 代表者会議の実施（連絡網の整備、参考資料の取りまとめ準備等）
- 3) 地域活動への参画（催し物の情報収集、参加内容の検討、地域活動バックアップ）
※部員補充：小出弘寿氏（北斗わかば病院）

11. 都道府県連絡協議会（大庭理事代理報告）

- ・退院後生活環境相談員、地域移行に関する研修会への協力 ⇒ 委員に大庭理事を派遣

12. 災害対策委員会（村岡理事）

1) 平成 27 年度事業計画

- ・研修会、ミーティング、防災訓練を開催予定、災害担当者会議への参加
- ・3 士会会議を 6 月に開催予定
- ・緊急時連絡システムの構築：400 名の登録を目指す。
- ・災害マニュアル・災害資格制度の構築

13. 法人化推進委員会（勝又理事）

- 1) 今後の予定：
 - ・6 月 27 日 アークネットにて打ち合わせ
 - ・7 月中 電子申請開始

14. 表彰委員会（辻氏代理報告）

- 1) 他機関からの表彰者推薦依頼：県知事表彰、平成 28 年度春の叙勲・表彰者共に対象者なし。
- 2) 平成 27 年度県士会表彰：第 28 回県学会レセプション内で 3 名の表彰実施。
来年度の候補者がいれば理事会で検討

15. 訪問リハビリテーション連絡委員会（齊藤理事）

- 1) 役割分担：
 - ①岡本曜祐氏：リーダー、理事会へ報告、必要に応じて理事会・部長会へ参加
 - ②辻本真由子氏：会計関連
 - ③ピリ睦氏：リーダー会議への参加・報告（報告は後日ミーティングにて）
- 2) 活動予定：平成 27 年 5 月の地域リーダー会議の内容を参考に、平成 27 年度の訪問リハ実務者研修会の開催に向けて、第 1 回目の会議を 6 月 13 日（土）に開催する。

16. 事務局（小林理事、岩井理事）

- 1) 後援依頼、案内等については資料参照
- 2) 会費納入状況：平成 27 年度会費納入者 1024 名（コンビニ払い 969 名 郵便振込み 55 名）
未納者 315 名（6 月 10 日時点）
納入者数、会員の約 76%（6 月 10 日時点での会員数 1339 名）
平成 26 年度分会費未納入者 52 名
平成 25 年度分会費未納入者 4 名
- 3) 労働保険関連書類：野崎労務士に本日依頼済み
- 4) 26 年度財務諸表：修正事項 修正中
- 5) 今年度の方針：見える化、事務業務の一括管理

17. その他

- ・連盟についての説明（熊谷顧問）
具体的には政治連盟。県士会と同じ意向で作業療法の思いを政治に反映する目的。だが、政治に関わるということは政党や議員を支持し当選させるために様々な活動が必要。すぐに設立とはいえないがいずれは必要になること。
- ・理事および役員の名刺：必要な部局は事務局へ依頼

【次回】

第 3 回理事会日程：平成 27 年 8 月 1 日（土）